

登録コード	EKB06900	開講年度	2026				
授業科目	学校・地域活性化チーム演習					担当教員	谷塚 光典 他
英文授業名						副担当	谷内 祐樹・伏木 久始
単位数	2	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	履修学年	2年生
講義室			授業形態	演習	備考		
信大コンピテンシー	非該当						
(1)【授業の達成目標】	【授業で得られる「学位授与の方針」】				【授業の達成目標】		
	2 4 E A カリ						
	教育の専門職としての学識・技能				チーム演習における意見交換をとおして、教育の専門職としての学識・技能を獲得する。		
	2 6 E A カリ, 2 5 E A カリ						
	協働的な問題解決を可能にする人間関係構築力				チーム演習における意見交換をとおして、協働的な問題解決を可能にする人間関係構築力を獲得する。		
	既存の枠組みを超える柔軟な発想力と深い省察力				チーム演習における意見交換をとおして、既存の枠組みを超える柔軟な発想力と深い省察力を獲得する。		
(2)授業の概要	(1) 授業のねらい ・教育課程の編成・実施，教科等の実践的な指導方法，生徒指導，教育相談，学級運営，学校経営，学校教育と教員の在り方などの様々な視点から自身の教育実践を語れるようになる。 ・教育実践の理論的な裏付けを得たり，実践のフィールドでは見いだせなかった価値づけや位置づけを明確にしたりできる。 ・自分の実践研究に対する課題を明確に持てるようになり，他者と共有できるようになる。 (2) 授業の進め方 拠点校等での教育実践上の諸側面（教育課程の編成・実施，教科等の実践的な指導方法，生徒指導，教育相談，学級運営，学校経営，学校教育と教員の在り方など）に対し，原則として異学年混成のチームを単位とした演習形式で課題の明確化を図っていく。各回の授業は受講生の関心を中心に展開し，あらかじめ指名された受講生が授業準備や指導案の検討，拠点校訪問，授業参観，教材研究，研究授業等の活動や，活動記録ないし演習資料等を準備し，多様な立場から検討する。 担当教員が小学校・中学校・高等学校および特別支援学校での実務経験を活かして講義を行う。						
(3)授業計画	第 1 回：顔合わせ・年間計画立案・オリエンテーション 第 2 回：授業準備の検討およびディスカッション 第 3 回：教育課程・指導案の検討およびディスカッション 第 4 回：拠点校訪問および意見交換 第 5 回：授業参観および意見交換 第 6 回：教材研究の体験および討議 第 7 回：観察記録のつけ方の検討および討議 第 8 回：実践研究の進捗共有と研究方法等の検討 第 9 回：校内研究への参加および意見交換 第10回：生徒指導に関するディスカッション 第11回：教育相談の在り方に関するディスカッション 第12回：教師の在り方の考察及び討議 第13回：学びの見取りに関するディスカッション 第14回：チーム演習の総括および研究協議 各回の順序や内容は受講生の教育実践課題に応じて変更することがある。 期末試験の有無 無（最終レポートの提出をもって充てる）						
(4)成績評価の方法	・カンファレンス資料の作成状況（文献や情報，教育実践実地研究における事例を基に自らの課題を明確化することができるようになる力を評価するため）100% ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀，89-80% 優，79-70% 良，69-60% 可，59%以下 不可。						
(5)履修上の注意	・授業は，原則として拠点校において複数の教員が担当する。 ・内容により，授業日や開催場所を変更することがある。（原則として木曜日） ・拠点校との調整等は担当教員等と連携して余裕をもって進めること。						
(6)質問,相談への対応および連絡先	担当教員への質問・連絡方法は，各自担当教員と相談して決定すること。 なお，開設授業科目一覧掲載の「担当教員のオフィスアワー」を参考にすること。						
(7)成績評価の基準	「卓越している」：多様な視点から教育実践の課題を豊かに語ることができ，その実践の価値づけや位置づけが明確になっていて，他者に分かりやすく説明できる。 「かなり上である」：多様な視点から教育実践の課題を語ることができ，その実践の価値づけや位置づけが明確になっている。 「やや上にある」：自身の教育実践の課題に気づき，その実践の価値づけや位置づけが明確になっている。 「水準にある」：自身の教育実践の課題に気づき，その実践の価値づけや位置づけが説明できる。						

(8)事前事後学習 の内容について	・授業にあたっては，授業準備や指導案の検討，拠点校訪問，授業参観，教材研究，研究授業等の活動や，活動記録ないし演習資料等を準備すること。 ・拠点校訪問等に参加できないメンバーのために，可能な範囲で記録の共有等の配慮することが望ましい。 ・自分の教育実践に対する課題に関連する文献や情報を収集すること。 ・この授業は90時間の学修を必要とする内容です。従って，60時間以上の時間外学習が必要となります。
【教科書】	指定しない。
【参考書】	授業の中で適宜紹介する。